

【がんばる市内企業の事業活動や事業展開を紹介します】

(有) 中川食品

～安全安心な商品の提供を使命に～

◇所在地 大洲市大洲

◇電話 24-2881

がんばる大洲企業

弊社は、明治36年に創業し、その後法人化しました。従業員28人とともに、主に豆腐の製造を行って、市内のスーパーマーケット、小売店や各種施設などに販売しています。

豆腐の製造は、まず原料となる大豆を水で洗い、一晩中水に浸けることから始まります。その後、豆腐のもとになる豆乳とおからに分け、豆乳を型枠の容器に入れプレス機で押し固めます。

製造過程の中で最も重要な工程は、大豆から抽出した豆乳に、にがり（凝固剤の一種）を加えるところです。加える量によって豆腐の味が左右されるので、豆乳濃度、味などの確認を複数の係員で行います。また、大豆は一つとして同じものがないため、状態を見極める力が大切になります。

製造時の課題は、大量のおからが出てしまうことです。そのため、弊社ではお



からのペレット化を目指し、固形燃料や畜産の飼料などに再利用できないかと取り組んでいます。食材の再利用は、食品会社にとって、重大な使命だと考えています。地産地消の観点からも、大洲産業フェスタなどで農工商業の連携を深めた事業に、今後も積極的に取り組みたいと考えています。

また、弊社では、県内でもごく少数の企業しか扱っていない「しめ豆腐」を製造しています。手間暇のかかる商品ですが、南予の伝統的食文化継承のためにも継続していきます。

今後もお客様に喜んでいただくために、従業員ともども安全安心で、おいしい豆腐の提供に努めます。

文化財

宇津のモッコク
大洲市指定天然記念物
個人所有



江戸時代、宇津村の庄屋を務めた大野家の墓地の一隅にある本樹は、樹高約13m、根回り11m、目通り周2.7mになり、樹齢は約300年と推定されます。

モッコクは、山に野生したものが多く見られますが、この木は大野家が墓を造る際に植栽したか、野生樹を保護したものと思われる。

本樹は、市内のモッコクの中でも最大のもので、同じ敷地内にあるネズミサシも天然記念物に指定されています。

(昭和37年11月3日指定)

野鳥

チュウサギ（中鷺）
ペリカン目 サギ科
大きさ69cm



夏鳥として、東南アジアなどからやって来るサギの仲間です。大きさはコサギより少し大きめで、群れをつくらず、多くても数羽で乾いた草地などで餌を捕っています。個体数も少なく、準絶滅危惧種に指定されています。田んぼや畑に群がるシラサギ類はどれも同じに見えますが、じっくり観察すると、オレンジがかったアマサギ、足の指先が黄色いコサギ、大きくて目先が緑がかったダイサギ、そしてくちばしが黄色くて先端部が黒い本種と、いろいろな種類が混じってトラクターの後を追いかけているのを目にします。一昔なら牛の後を付いて歩いていたのですが、彼らも人間の生活スタイルにすっかり便乗して、たくましく命をつないでいます。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

いんじちは市長です

大洲の歴史の中の臥龍山荘



明治の時代は、それまでの鎖国政策から世界の荒波の中へ日本丸が出帆し、さまざまな外国との新しい関係を築きあげるため、血のにじむような思いで日本の変革が進められました。

殖産興業という名のもとに官営鉄道や汽船が発足するとともに、鉱山などの事業を行い、群馬県には、富岡製糸場などの官営工場が開設されました。欧米化が進み、日本の旧来の文化が変革を余儀なくされた時代に、純和風の茶室を主体とした臥龍山荘が建設されたことは、大洲という地域が、経済的にも文化的にも当時の日本の風潮を跳ね返すだけの力を秘めていた証ではないかと考えます。臥龍山荘は明治33年から順次着工され、明治40年に竣工しています。この時代は、昨年まで足かけ3年

にわたってNHKの大河ドラマとして放送された「坂の上の雲」の場面と同時代で、日清・日露戦争の時代であり、女工哀史の時代でもあります。その時代に日本の「わび・さび」の文化を継承した臥龍山荘を建築した河内寅次郎氏は、脇川や対岸の富士山を借景として、四季の移ろいの中で、木蠟貿易の世界地図を頭に浮かべていたのかもしれませんが。臥龍山荘は昨年、日本全国を紹介する世界の観光ガイドブック・ミシユランガイドで一つ星として紹介されました。この臥龍山荘を徹底的に解説した「水郷の数寄屋・臥龍山荘」を書店などで販売しています。ぜひ、大洲の歴史を感じながらご一読ください。

(8ページに紹介)

おおずの女性 輝いて今

平成24年度「大洲市食生活改善推進協議会総会」

「私たちの健康は私たちの手で」のスローガンの下、大洲市食生活改善推進協議会総会が4月27日(金)、総合福祉センターで行われました。各支部のヘルスマイト(食生活改善推進員)が総勢196人集まり、昨年度の事業報告や本年度の事業計画などを協議しました。

当協議会は、住民の健康づくりと福祉の向上に寄与することを目的とし、ボランティア精神で地元根付いた活動を行っています。会の冒頭で、富永裕代(ひろよ)会長は「昨年は地産地消をテーマに、大洲コロッケなどの周知を図った。被災地への義援金も多く集まり、今後ともみなさんの協力をお願いしたい」と述べました。



研修の様子

来賓で出席した清水市長は「食事を作って食べるということは、とても大切である。今年完成する新しい学校給食センターでは、大洲産の食材を多く使用していきたい。今後は、おいしいと健康が大洲のキャッチフレーズになるように努めていく。みなさんのアイデア、技術力を生かしてもらいたい」と述べました。

その後、NPO法人こころ塾の村松つねさんを講師に『栄養・運動・休養で、こころ元気に！』と題した研修が行われました。村松さんは「みなさんは地域や家族の中でキーパーソンになると思う。命に関わることなので、正しい知識を学んでほしい」と話しました。当協議会は、食育アドバイザーとしても活動を行っています。



4月23日(月)



大きく元気に育ってね ～稚アユの放流～

肱川での豊漁とうかいの成功を目的に、稚アユの放流が肱川如法寺河原で行われました。

この日放流されたのは約2万尾の稚アユで、21人の肱南保育所園児たちが放流のお手伝いをしました。園児たちは「大きく元気に育ってね」と声をかけながら、稚アユを優しく川に放していました。

稚アユの体長は7～8センチで、漁の解禁となる6月には20センチ前後に成長するということです。

4月6日(金)



交通安全をこころがけましょう ～交通茶屋～

大洲警察署、大洲交通安全協会河辺支部、交通指導員のみなさんが、河辺支所前で交通茶屋を行いました。これは4月6日から15日までの10日間、「安全は目配り気配り 思いやり」を統一スローガンに、春の全国交通安全運動が実施されるのに伴い行われたものです。

交通茶屋ではチラシなどを配布して、運転者にシートベルトの着用と、安全運転の徹底を呼びかけました。

5月3日(木)



大空を元気に泳ぎました ～大川鯉のぼり川渡し～

第5回目となる大川鯉のぼり川渡しが、大川地区の大成橋上流で行われました。

今回は龍馬脱藩150年を記念して、龍馬役に扮したらくさぶろうさんが川を下って登場し、会場を沸かせていました。

この日は風が強く、2本のワイヤーに設置された約200匹の鯉のぼりが大空を元気に泳ぎ、訪れた人の目を楽しませていました。

4月17日(火)



今年も盛況でした ～沖浦観音春季大祭～

国の重要文化財の「木造十一面観音立像」が安置されている長浜町沖浦の瑞龍寺にて、沖浦観音春季大祭が開催されました。

この日は晴天に恵まれ、市内外から多くの参拝者が訪れて、大変なにぎわいとなりました。また、恒例の餅まきの時間には、境内は参拝者で埋め尽くされ、歓声と笑顔があふれていました。

うかいシーズンスタート

今年も6月1日(金)より、大洲の夏の風物詩「うかい」が始まります。

大洲の「うかい」は、鵜船(うぶね)を屋形船が取り囲み、鵜がアユを捕る姿を手が届きそうなくらいの距離で見ることが出来ます。

ぜひ、郷土の誇る伝統文化「大洲のうかい」を親しい仲間やご家族でお楽しみください。

○夜うかい

【実施期間】

6月1日(金)～9月20日(木)

【観覧時間】

午後6時30分～8時30分

【乗船場】

うかいレストプラザまたは

如法寺河原

【下船場】 大洲城下

【料金】

▽小型船(定員10人)

2万6250円

▽大型船(定員18人)

3万6750円

▽案内人付乗合船

大人(中学生以上) 3500円

子ども(5歳以上) 2000円

【うかいサービスデー】

6月1日、6月・7月・9月の

毎週水曜日、9月20日は、貸切船

料金の割り引きがあります。

○昼うかい

【実施期間】

6月～9月の毎週日曜日および

8月13日～15日(お盆)

【観覧時間】

正午～午後1時30分

【乗船場】 如法寺河原

【下船場】 大洲城下

【料金】

▽小型船(定員10人)

1万5000円

▽大型船(定員18人)

2万3000円

▽案内人付乗合船

大人(中学生以上) 2500円

子ども(5歳以上) 1500円

【案内・申し込み先】

大洲まちの駅「あさもや」

☎247011



第18回大洲ジュニアトライアスロン大会

【開催日時】

7月29日(日)午前10時スタート

【開催場所】

一級河川肱川、肱川緑地公園ほか

【競技種目】

小学生部門

▽男子・女子の部(3～6年生)

▽駅伝の部

(3人1組、学年・男女混合可)

中学生部門(学年区分なし)

▽男子・女子の部

▽駅伝の部

(3人1組、学年・男女混合可)

高校生部門(学年区分なし)

▽男子・女子の部

▽駅伝の部

(3人1組、学年・男女混合可)

【競技内容】

▽小学生部門(制限時間50分)

スイム100㍎ ↓ バイク6㍎

↓ ラン2㍎

▽中学生・高校生部門

(制限時間60分)

スイム200㍎ ↓ バイク10㍎

↓ ラン4㍎

※増水時は、デュアスロン(スイム

をランに変更)として実施予定

【定員】

150人(各部門の合計)

【参加費】 1000円

(駅伝は1チーム3000円)

※納入期限7月5日(木)午後5時

【申込期間】

6月1日(金)～29日(金)

(定員になり次第締め切り)

【申し込み先・問い合わせ先】

〒795-0012

大洲市大洲891番地1

大洲市教育委員会生涯学習課内

大洲ジュニアトライアスロン大会

実行委員会事務局

☎241734

☎242111(内線7727)

FAX 235760

